

英語 1 年「現在進行形」 O. Y 教諭



英語を話すベースには、生徒が失敗を恐れないことが前提として存在する。すなわち安心して間違えることができる学級の雰囲気があるかどうか。

また、正確な表現は、後で教えることも可能。まずは英語を使いながら覚えていくことが肝要。そして、英会話スクールなどに通っている生徒は別であるが、話す力を付けるためには、できるだけ学校の授業の中で、話す時間を確保することが重要になる。

【授業の流れ】

(1) ウォーミングアップ

(2) 現在進行形の特徴を理解する。

生徒とキャッチボールをしながら、テンポよく説明。

※不規則動詞に注意するなど、要点をまとめる。

書く時間「静」を確保し、生徒は集中した取組。



(3) 英作文

書くことへの抵抗感を緩和するため、生徒が楽しみにしている題材を活用。

クリスマス
冬休み



お年玉が一番の
楽しみの方
でした！

(4) 発表



仲間の発表に対して、自然と
大きな拍手がわいています。

同じ時間に、英語 2 年「ユニバーサル・デザイン」 H. J 教諭



フラッシュカードで
生徒とコミュニケーション



互いに新出単語の
問題を出し合う



ペアで読みを聞き合う



ペアを変えて練習する姿勢が
とても自然で、学級の人間関係
がよいことが分かります。

